

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-179176

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月7日

(51) Int. CL <sup>8</sup>	識別記号	P I	
C 1 2 N 15/00	Z N A	C 1 2 N 15/00	Z N A A
A 6 1 K 38/00	A D Z	A 6 1 K 39/395	Y
		45/00	
		C 0 7 K 14/315	
C 0 7 K 14/315		16/12	

審査請求 未請求 請求項の数24 F D 外国語出願 (全103頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平9-299298

(22) 出願日 平成9年(1997) 9月24日

(31) 優先権主張番号 60/027030

(32) 優先日 1996年9月24日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(31) 優先権主張番号 60/040656

(32) 優先日 1997年3月10日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 591002957

スミスクライン・ビーチャム・コーポレイ  
ションSMITHKLINE BEECHAM  
CORPORATIONアメリカ合衆国ペンシルベニア州19406-  
0939、キング・オブ・ブルシア、スウェー  
ドランド・ロード709番(72) 発明者 マーティン・カール・ラッセル・バーナム  
アメリカ合衆国19403ペンシルベニア州ノ  
ーリスタウン、タングルウッド・レイ  
ン2927番

(74) 代理人 弁理士 青山 蓑 (外1名)

(54) 【発明の名称】 新規 I g A F c 結合タンパク質

(57) 【要約】

【課題】 新規な I g A F c B P および該タンパク質  
をコードする DNA が望まれている。【解決手段】 本発明のポリペプチドのアミノ酸配列  
を、ストレプトコッカス I g A F c B P 等の他のタン  
パク質の既知アミノ酸配列と比較することにより、その  
相同性を検討することで新規な I g A F c B P を提供  
するものである。また、組換え技術によりかかるポリペ  
プチドを製造する方法；感染、および細菌感染を処置す  
るためのかかる I g A F c B P の利用方法；かかる I  
g A F c B P に対するアンタゴニストおよび感染およ  
び細菌感染の処置のための治療用としての使用； I g A  
F c B P 核酸配列およびポリペプチドの宿主中の存在  
に因与する疾患の検出のための診断アッセイ；および I  
g A F c B P をコードするポリヌクレオチドの検出お  
よび宿主中のポリペプチドの検出のための診断アッセイ  
をも開示する。

BEST AVAILABLE COPY